

御土あかし

第35号

発行 五日市郷土館 東京都あきる野市五日市920-1 電話 042-596-4069

春日明神社伝来の小型海獣葡萄鏡

内川 隆 志（國學院大學文学部教授）

はじめに

あきる野市乙津427番地に所在する春日明神社（鈴木泰正宮司）には、市指定有形文化財（工芸品）（昭和44年7月10日）の和鏡8面が知られていましたが、令和3年（2021）7月の調査において、和鏡以外に、古代に遡る小型海獣葡萄鏡1面が存在している事が判明しました。古代に遡るこの鏡は、東京都下で3例目であり全国的にみても非常に貴重な文化財であるため、すぐさまその重要性を報告し、あきる野市文化財保護審議会の審議を経て令和4年3月に市指定有形文化財（工芸品）として指定されました。

本稿では、この小型海獣葡萄鏡について紹介したいと思います。

推定される出土地

天児屋根命あめのこやねのみことを祀る春日明神社は、『西多摩神社誌』に所載される由緒書きによりますと「応永年中（1394-1428）小宮上野介が奈良春日社より村の加茂の原に勧請。今その旧跡から古瓦が出土する。のち里人が奈良山に遷す時、山麓往復の諸人が落馬する事故が続き神の祟りを恐れて現在地に祀った。享保9年（1724）再建、安永4年（1775）改装した。」とあります。由緒に記載されている加茂の原は、若電神社わきかづちの旧社地であり、天文年中（1532-1554）に移され、旧地は加茂原、あるいは、加茂宮跡と称されています。『阿伎留神社誌』によると「若電神社は、加茂別電神かもわけいのかづちのみことを祀る。

三代実録貞観六年七月二十七日武蔵国従五位下若電神に従五位上を授くと載せられている古社で、もと当郷乙津に鎮座せられていたのを、天文年中当社境内にお移した。その旧地はいま加茂原あるいは、加茂宮跡という。」とあります。

小型海獣葡萄鏡を含む鏡鑑群は『西多摩神社誌』に記されている若電神社旧社地から出土したものと伝承されますが、もはやその事実関係を確認する手立てはありません。ただし、遺存状況から判断して明らかに出土資料と言える和鏡も含まれている点は見逃せないところです。

出土地と考えられる若電神社旧社地は、あきる野市乙津141番地付近に位置していたと推定され（図1）、現在は民有地で畑地として利用されています。旧社地は、秋川が落合橋下流で大きく流路を変える付近の左岸に舌状に張り出した南向きの緩傾斜地の標高250m付近に占地していたと思われます。



図1 若電神社旧社地の推定位置（丸範囲）

小型海獣葡萄鏡について

春日明神社に伝来する小型海獣葡萄鏡（写真1・図2）の面形は正円形を呈し、面径6 cm、縁高0.75 cm、重量100 gを計り、内区には四獣が配され、外区鏡縁部には葡萄文が巡ります。鏡縁部にかけて僅かに反り、鏡背は匙面を形成し、鏡縁部は三角状を呈しています。踏み返し鑄造を繰り返し経ているため文様の崩れが著しく、金質は黒味を帯びた銅製で一部鉄錆のような明るい褐色を呈する部分が観察され、鏡面には一部煤の付着が認められ、明緑色の緑青が観察されます。

小型海獣葡萄鏡は、奈良国立文化財研究所の杉山洋先生によってA、Bの2種に分類されており、本鏡のように内区と外区が整ったもの（A類）の内、面径6 cm前後の同型鏡は、本事例を含め全国で39例知られています。また、同型鏡の内区だけを独立させた小型鏡の類例（B類）も14例が知られます。

A類の大きさは概ね6 cm前後のものが多く、外径の大きさによってa～eの5段階の踏返し鑄造によって生産されており、a段階は和歌山県隅田八幡宮2号経塚鏡に代表されるように最も直径が大きい一群で、次のb・c段階には同一原型を用い、連鑄式鑄型を用いた大量生産の段階となり、需要が増大した事が推定されています。本鏡はやや小型化してゆくc～d段階に相当するものと考えられます。

年代的には7世紀後半から末期に位置付けられる千葉県富里市千葉松ノ木台2号墳鏡を最古例として、おおむね8世紀中頃までの時代幅で捉えることができ、藤原京の時代である7世紀末から8世紀初頭に一つの中心を有することが知られています。ただし、石川県羽咋市寺家遺跡S B 21出土のB類鏡（10世紀初頭）や、和歌山県橋本市隅田八幡2号経塚のA類鏡（12世紀中頃）など伝世した後に祭祀や経塚埋納への使用例なども知られています。隅田八幡2号経塚鏡は、鏡背文様の鮮明なa段階に属するものの傾向X線分析の結果、砒素の含有量が多くアンチモンが少ない傾向を示しており、鉛分が多くなる平安時代初期以降の鑄造である可能性が指摘されるなど様相は複雑なのです。

小型海獣葡萄鏡をめぐる歴史的背景

小型海獣葡萄鏡は、石川県羽咋市寺家遺跡のように中央と直結する祭祀遺跡や大阪府東大阪市西ノ辻



写真1 春日明神社伝来小型海獣葡萄鏡



図2 春日明神社伝来小型海獣葡萄鏡

遺跡河川跡S R 11、奈良県橿原市藤原京右京五条四坊北西坪、同県大和郡山市平城京右京一条坊九条大路北側溝など「水の祭祀」に関連する遺構からの出土が知られています。また、石川県輪島市舳倉島奥津姫神社や東京都式根島野伏西遺跡（写真2）、三重県鳥羽市神島八代神社などの「海の祭祀」に関係

する遺跡や神社にも伝世しています。

本鏡が出土したとされる若電神社旧社地は、秋川が大きく流路を変える左岸の舌状に張り出した南向きの緩傾斜地の上位付近に占地しています。『西多摩神社誌』に記載されているように、応永年中(1394-1428)に小宮上野介が奈良春日社より加茂の原に勧請する以前に中央と直結する何らかの関係性があったのか、あるいは後世に持ち込まれたものなのか等、その因果関係は不明ですが、12世紀後半に比定される菊花双雀鏡と菊薄双雀鏡の存在によって隅田八幡2号経塚鏡のように経塚造営に関連する可能性も考えられるでしょう。

また、若電神社旧社地北西方向約5kmの地点には、御岳山が存在し、秋川の支流である養沢川沿いの道で結ばれています。御嶽神社は、崇神天皇7年に武渟川別命が東方十二道を平定の際、大己貴命、少彦名命を祭祀したのが起源とされ、天平8(736)年に行基が蔵王権現を安置して以降広く崇拜され、『延喜式神名帳』には大麻止乃豆乃天神社と記されており、中世には金峰山御嶽蔵王権現として畠山重忠に代表される有力武将の崇敬をあつめた聖地であることは言うまでもありません。御岳山は、行基が東国鎮護を祈願し聖地化してゆく段階で、中央においても東国の主要な霊山と認識され、小型海獣葡萄鏡を用いる祭祀が執り行われた可能性も十分考えられるでしょう。

参考文献

- (1) 『五日市町の文化財』
1988 五日市町教育委員会
- (2) 『西多摩神社誌』
1983 東京都神社庁西多摩支部
- (3) 間宮士信ほか
文化7・1810年～文政11・1828年
『新編武蔵風土記稿』
- (4) 植田孟縉 1820 『武蔵名勝図会』
- (5) 杉山洋 2003
『唐式鏡の研究 飛鳥・奈良時代金属器
生産の諸問題』 鶴山堂
- (6) 杉山洋 2008
「隅田八幡宮2号経塚出土小型海獣葡萄鏡について」
『九州と東アジアの考古学—九州大学考古学
研究室50周年記念論文集—』下巻
九州大学考古学研究室50周年記念論文集刊行会



写真2 東京都式根島野伏西遺跡出土小型海獣葡萄鏡

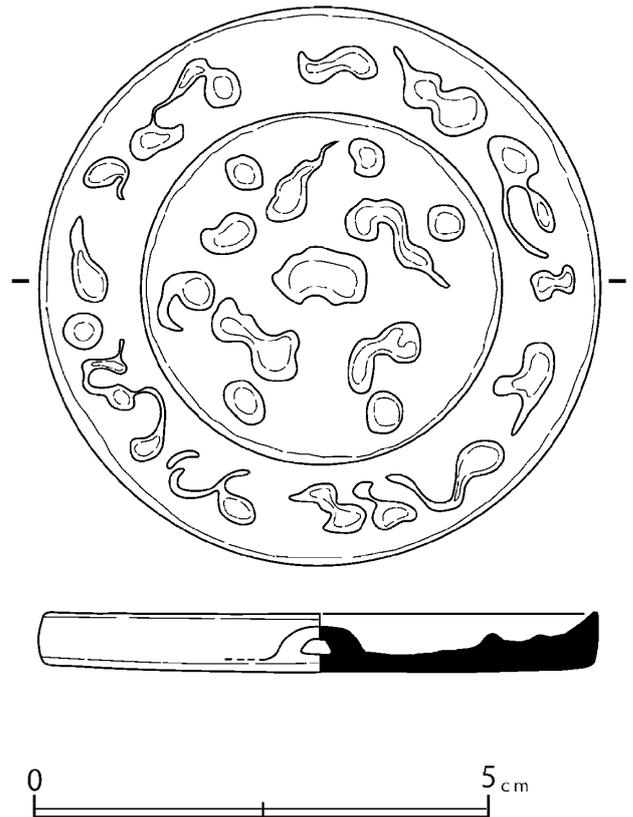


図3 東京都式根島野伏西遺跡出土小型海獣葡萄鏡

小型海獣葡萄鏡一覽

	品名	出土遺跡・所有者	所在地
1	小型海獣葡萄鏡 (内区のみ)	明花向遺跡	埼玉県さいたま市大谷口
2	小型海獣葡萄鏡	千葉松の木台2号墳	千葉県富里市 (旧印旛郡富里村)
3	小型海獣葡萄鏡	千葉瀬戸鈴耕地遺跡	千葉県印西市 (旧印旛郡印旛村)
4	小型海獣葡萄鏡	武蔵国分寺跡	東京都国分寺市
5	小型海獣葡萄鏡	野伏西遺跡	東京都新島村式根島
6	小型海獣葡萄鏡 (内区のみ)	構之内遺跡	神奈川県平塚市
7	小型海獣葡萄鏡 (内区のみ)	寺家遺跡	石川県羽咋市
8	小型海獣葡萄鏡	寺家遺跡	石川県羽咋市
9	小型海獣葡萄鏡	寺家遺跡	石川県羽咋市
10	小型海獣葡萄鏡	舳倉島奥津姫神社	石川県輪島市舳倉島
11	小型海獣葡萄鏡	長野芝宮遺跡	長野県佐久市
12	小型海獣葡萄鏡	加納山遺跡	岐阜県岐阜市加納山
13	小型海獣葡萄鏡	出目地古墳	岐阜県不破垂井町大村平尾
14	小型海獣葡萄鏡 (内区のみ)	上多賀宮脇遺跡	静岡県熱海市
15	小型海獣葡萄鏡	日詰遺跡	静岡県賀茂郡南伊豆町
16	小型海獣葡萄鏡 (内区のみ)	後田遺跡	愛知県西尾市 (旧幡豆郡幡豆町)
17	小型海獣葡萄鏡	八代神社9号	三重県鳥羽市神鳥町
18	小型海獣葡萄鏡	八代神社10号	三重県鳥羽市神鳥町
19	小型海獣葡萄鏡	八代神社11号	三重県鳥羽市神鳥町
20	小型海獣葡萄鏡	八代神社12号	三重県鳥羽市神鳥町
21	小型海獣葡萄鏡	八代神社13号	三重県鳥羽市神鳥町
22	小型海獣葡萄鏡	八代神社14号	三重県鳥羽市神鳥町
23	小型海獣葡萄鏡	太鼓塚古墳11号墳	滋賀県大津市滋賀里1丁目
24	小型海獣葡萄鏡	東光寺遺跡	滋賀県大津市東光寺
25	小型海獣葡萄鏡	周山廃寺	京都市右京区京北周山町
26	小型海獣葡萄鏡 (内区のみ)	常磐仲之町遺跡城北街道5次調査地点	京都市上京区
27	小型海獣葡萄鏡	西ノ辻遺跡	大阪府東大阪市
28	小型海獣葡萄鏡	中山勅川窯址	兵庫県宝塚市
29	小型海獣葡萄鏡 (内区のみ)	深江北町遺跡	兵庫県神戸市東灘区
30	小型海獣葡萄鏡 (内区のみ)	奈良橿原四条大田中遺跡	奈良県橿原市
31	小型海獣葡萄鏡 (内区のみ)	奈良橿原四条大田中遺跡	奈良県橿原市
32	小型海獣葡萄鏡	藤原京右京五条四坊北西坪	奈良県橿原市
33	小型海獣葡萄鏡 (内区のみ)	藤原京80次調査	奈良県橿原市
34	小型海獣葡萄鏡	金峰山	奈良県吉野郡天川村
35	小型海獣葡萄鏡 (内区のみ)	平城京右京二条三坊三ツボ	奈良県大和郡山市
36	小型海獣葡萄鏡	大福遺跡	奈良県桜井市
37	小型海獣葡萄鏡	平城京右京一条坊九条大路北側溝	奈良県大和郡山市
38	小型海獣葡萄鏡	多神社隣接地	奈良県磯城郡田原本町大字多
39	小型海獣葡萄鏡	谷公園遺跡	奈良県桜井市
40	小型海獣葡萄鏡 (内区のみ)	西隆寺跡	奈良県奈良市西西大寺北町
41	小型海獣葡萄鏡	大和文華館	奈良県奈良市学園南
42	小型海獣葡萄鏡	隅田八幡宮経塚	和歌山県橋本市隅田町
43	小型海獣葡萄鏡	蓬莱山御正体	和歌山県新宮市阿須賀
44	小型海獣葡萄鏡	川入・中撫川遺跡	岡山県岡山市北区中撫川
45	小型海獣葡萄鏡	太宰府第160次調査	福岡県太宰府市観世音寺
46	小型海獣葡萄鏡	熊本市立博物館旧住谷コレクション	熊本市中央区古京町
47	小型海獣葡萄鏡	神門神社	宮崎県東臼杵郡美郷町南郷区